

公立幼稚園における3年保育について

鈴鹿市 こども政策課
こども育成課

1 現状

令和5年度から令和7年度については、3年保育の試行期間ということで、令和5年度から国府・玉垣幼稚園、令和6年度からは、旭が丘幼稚園を追加し、3園(1クラス当たり20人定員)で3年保育を実施中。(※4歳児・5歳児は、1クラス当たり35人定員)

2 課題

玉垣幼稚園及び旭が丘幼稚園の補欠(キャンセル待ち)の解消。

<状況> 3年保育試行期間(令和5年度～令和7年度)の検証

令和5年度:玉垣幼稚園において補欠(キャンセル待ち)が発生

→ 3年保育の拡充が必要となる結果となり、次年度から旭が丘幼稚園を追加決定。

令和6年度:旭が丘・玉垣幼稚園において、補欠(キャンセル待ち)が発生

令和7年度:旭が丘・玉垣幼稚園において、補欠(キャンセル待ち)が発生

3 今後の方向性

<検討内容> 3園の3歳児の定員数合計(60人)は変更せず、各園の内訳を見直す。

→ 補欠(キャンセル待ち)が一番多い、旭が丘幼稚園の3歳児の定員数を24人に変更し、国府幼稚園の3歳児の定員数を16人とする。

※令和8年度の申込数によって、玉垣の補欠(キャンセル待ち)が増えた場合は、玉垣幼稚園の3歳児の内訳も見直す可能性もある。

↓

【利用定員】

令和8年度: 旭が丘幼24人、玉垣幼20人、国府幼16人 = 合計60人

令和9年度: 旭が丘幼24人、玉垣幼24人、国府幼12人 = 合計60人

※ただし、国府幼稚園の12人定員が、集団教育として良いかの議論は検討中。